

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年5月22日 (2014.5.22)

【公表番号】特表2010-531910(P2010-531910A)

【公表日】平成22年9月30日 (2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-039

【出願番号】特願2010-514198(P2010-514198)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

C 1 1 D 3/33 (2006.01)

C 1 1 D 3/10 (2006.01)

C 1 1 D 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/20

C 1 1 D 3/33

C 1 1 D 3/10

C 1 1 D 1/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月2日 (2014.4.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 2】

機関および工業的作業において凝固技術及び固体**ブロック**洗剤はフェルンホルツ (Fernholz) ら、米国再発行特許第32762号明細書及び米国再発行特許第32818号明細書に請求される SOLID POWER (登録商標) ブランド技術で開拓された。さらに実質的に水和炭酸ナトリウム物質を使用する炭酸ナトリウム水和物注型固体製品はヘイル (Heile) ら、米国特許第4595520号明細書及び米国特許第4680134号明細書に開示された。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 3】

もっと近年では注意は炭酸ナトリウムとしても知られるソーダ灰のような少苛性アルカリ物質から高度有効洗剤物質を生産することに向けられた。炭酸ナトリウムを基剤とした洗剤を開発することにおいて初期研究は炭酸ナトリウム水和物基剤物質は凝固後によく膨潤する (すなわち、寸法的に不安定である) ことがわかった。そのような膨潤は包装、分配、及び使用を妨げることができる。固体物質の寸法不安定は炭酸ナトリウム固体物質を製造することで調製される異なった水和物形態の不安定性質に関連する。水和炭酸ナトリウムで作製された初期製品は典型的に無水、1モル水和物、7モル水和物、10モル水和物またはそれらの混合物からなった。しかしながら製品は製造され、周囲温度で貯蔵された後に初期製品の水和状態は水和形態、例えば1、7、及び10モル水和物の間で転移することが認められ、**ブロック**状化学物質の寸法不安定に結果としてなった。これらの常用固体形態組成物で水含有量ならびに温度変化は構造および寸法変化につながり、固体形態の破壊に至るかもしれず、使用のために計量分配機に固体形態の適合不能のような問題になる。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

追加として常用固体アルカリ洗剤、特に機関及び商業的使用に予定されるものは一般にそれらの組成で燐酸エステルを必要とする。燐酸エステルは典型的に組成物で多数の目的、例えば凝固速度を調節し、汚れを除去及び懸濁するため、および有効硬度金属イオン封鎖剤として適する。固体ブロック機能物質はカルボン酸塩、アミノカルボキシレートのような有機酢酸エステル、またはホスホン酸エステル成分および水を含む結合剤を用いて作製されることができるとは認められ、開示され、および米国特許第6258765号明細書、米国特許第6156715号明細書、及び米国特許第6177392号明細書に請求された。環境関心のためにさらなる研究は最近燐含有化合物を洗剤において置換することに向けられた。加えて燐含有化合物の代わりにいくつかの例では結合剤ならびに硬度金属イオン封鎖剤として使用されるニトリロ三酢酸（NTA）含有アミノカルボキシレート成分は発癌性であるらしい。それ自体はその使用は削減された。

## 【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0065

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0065】

結果として生ずる固体洗剤組成物はこれらに限定されないが：流し込固体製品；押出、成形または形成される固体ペレット、ブロック、タブレット、粉末、粒体、フレーク；を含み、または形成した固体はその後に練磨されるか粉末、粒体、またはフレークに形成されることができる。例示的な実施形態で凝固基材で形成される押出ペレット材料はほぼ50グラム～ほぼ250グラムの重量を有し、凝固基材で形成される押出固体はほぼ100グラムまたはそれ以上の重量を有し、凝固基材で形成される固体ブロック洗剤はほぼ1～ほぼ10キログラムの質量を有する。固体組成物は機能物質の安定供給源を準備する。いくつかの実施形態で固体組成物は例えば、水性またはほかの溶媒に溶解されることが可能であり、濃厚及び／又は使用溶液を与える。溶液は後の使用及び／又は稀釈のために貯蔵溜めに与えられることが可能であり、または使用点に直接適用されることが可能である。

## 【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0067

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0067】

他の実施形態で固体洗剤組成物はブロックまたは複数のペレットのような多使用固体の形態で供給され、繰り返して使用されて多重洗浄作業周期の間に水性洗剤組成物を生成する。一定の実施形態で固体洗剤組成物はほぼ5グラム～ほぼ10キログラムの質量を有する流し込固体、押出ブロック、または錠剤として供給される。一定の実施形態で多使用形態の固体洗剤組成物は質量をほぼ1キログラム～10キログラムで有する。さらなる実施形態で多使用形態の固体洗剤組成物はほぼ5キログラム～およそほぼ8キログラムの質量を有する。他の実施形態で多使用形態の固体洗剤組成物はほぼ5グラム～ほぼ1キログラム、またはほぼ5グラム～ほぼ500グラムの質量を有する。

## 【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

## 【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

固体洗剤組成物であって、該固体洗剤組成物は：

(a) 該固体洗剤組成物の 1 w t % ~ 1 5 w t % の、酢酸、グルコン酸、リンゴ酸、琥珀酸、グルタル酸、アジピン酸、酒石酸、及びクエン酸から成る群から選択される直鎖飽和モノ - 、ジ - またはトリ - カルボン酸の塩であって、該直鎖飽和モノ - 、ジ - またはトリ - カルボン酸の塩は、該固体洗剤組成物に組み込まれる前に水と組み合わせられて固体水和物として提供されたものである、直鎖飽和モノ - 、ジ - またはトリ - カルボン酸の塩；

(b) 該固体洗剤組成物の 2 w t % ~ 5 0 w t % の水；

(c) 該固体洗剤組成物の 4 0 w t % 未満のビルダー；

(d) 該固体洗剤組成物の 2 0 w t % ~ 7 0 w t % の炭酸ナトリウム；及び

(e) 該固体洗剤組成物の 0 . 5 w t % ~ 1 0 w t % の界面活性剤；

を含んでおり、

1 2 0 ° F ( 4 8 . 9 ) の温度に加熱されるときに、該固体洗剤組成物は、寸法安定性であり、かつ該固体洗剤組成物の直径又は高さが、2 % 未満しか増加せず、

該固体洗剤組成物は、燐含有化合物及び N T A 含有化合物を含有せず、並びに

該固体洗剤組成物は、ブロックの形態である、

固体洗剤組成物。

## 【請求項 2】

前記直鎖飽和モノ - 、ジ - またはトリ - カルボン酸の塩は、前記固体洗剤組成物の 1 w t % ~ 1 0 w t % を構成する、請求項 1 に記載の固体洗剤組成物。

## 【請求項 3】

前記水は前記固体洗剤組成物の 5 w t % ~ 4 0 w t % を構成する、請求項 1 に記載の固体洗剤組成物。

## 【請求項 4】

前記ビルダーは前記固体洗剤組成物の 3 0 w t % 未満を構成する、請求項 1 に記載の固体洗剤組成物。

## 【請求項 5】

前記炭酸ナトリウムは前記固体洗剤組成物の 4 5 w t % ~ 6 5 w t % を構成する、請求項 1 に記載の固体洗剤組成物。

## 【請求項 6】

前記界面活性剤は前記固体洗剤組成物の 1 w t % ~ 5 w t % を構成する、請求項 1 に記載の固体洗剤組成物。